

小牧市友好都市
安養市
市昇格 50 周年
訪問事業

小牧市



安養市



2023 年 (令和 5 年) 9 月 20 日 (水) ~ 23 日 (土)

安養市渡航者リスト

	職 名	氏 名
①	小牧市 副市長	伊 木 利 彦
②	小牧市議会 代表	玉 井 宰
③	小牧市役所 地域活性化営業部長	石 川 徹
④	小牧市役所 シティプロモーション課長	伊 神 吉 隆
⑤	小牧市日韓親善協会 会長	水 野 義 信
⑥	小牧市日韓親善協会 副会長	阿 部 勝
⑦	小牧市日韓親善協会 名誉顧問	川 島 公 子
芸 術 団		
①	日本舞踊 花柳流師範	太 田 早 苗
②	日本舞踊 花柳流師範	塚 原 和 香

日程表 2023 年 9 月 20 日～23 日

月日			時間	交通	スケジュール
第 1 日目 9/20(水)		小牧市役所 セントレア空港発 仁川国際空港着 安養市	6:00 9:00 15:00 18:30	1607 便 専用車	小牧市役所集合 スマート都市総合センター見学 安養 F C 歓迎キックオフ 安養市長主催歓迎晩餐会
第 2 日目 9/21(木)		安養市	9:30 10:30 13:30 17:00 19:30	専用車	安養市議会訪問 安養市長訪問 シンポジウム (各都市先進事例の発表) ダンスフェスティバルリハーサル 安養市市昇格 50 周年記念式典
第 3 日目 9/22(金)			9:30 11:00 13:30 15:00 18:00 18:00	専用車	礼節教育館見学 APAP7 センター見学 伝統市場見学 三徳公園市民歌謡祭りハーサル 三徳公園市民歌謡祭 韓日親善協会歓迎晩餐会
第 4 日目 9/23(土)		ホテル 発 仁川国際空港発 セントレア空港着 セントレア空港発 小牧市役所着	7:00 11:10 13:00 14:00 15:30	専用車 1602 便	 小牧市役所解散

安養市概要

1. 安養市との交流の経緯

1979 年（昭和 54 年）に小牧地区日韓親善協会が発足し、安養市の韓日親善協会や安養市議会との交流が始まった。その後、両市の親善協会が主体となり、婦人交流や児童交流などが行われ、1986 年（昭和 61 年）には韓国で両市の日韓・韓日親善協会の姉妹結縁調印式が行われた。

また、翌年には小牧青年会議所及び東安養青年会議所の姉妹結縁の調印が行われるなど、民間レベルでの交流がますます活発となった。その後も、スポーツ交流や両市議会の交流、両市職員のサッカー交流などを経て平成 10 年には両市の正式な交流として、児童相互交流事業が開始された。

しかしながら、政情不安や SARS 等の問題もあり、現在のところ児童交流は中断しているが、親善協会として市民レベルでの交流は続いている。今回の訪問は平成 25 年の安養市市昇格 40 周年以来の訪問となる。

※安養市としての来訪は、平成 25 年の小牧市制 60 周年記念式典

※児童交流は、平成 29 年から中断

2. 安養市の概要

〈位置〉

大韓民国京畿道の中央に位置し、首都ソウルの南西に位置している。空の玄関である仁川国際空港からは自動車です約 1 時間の距離にある。

〈面積〉

約 58.5k m²（小牧市の約 93%）

〈人口〉

約 54 万人

〈概要〉

安養という名は、高麗の太祖王建によって創建された安養寺（10 世紀）に由来し、仏教における極楽浄土の理想郷を意味する。現在の安養市が成立したのは 1973 年で、市内には地下鉄 2 路線が走り、高速道路も通じた交通の利便性が高い都市である。首都近郊のベッドタウンとして、市の中心部には高層マンションが立ち並び、軽工業産業の各種企業が林立する。

〈姉妹・友好都市〉

米国：ハンプトン市・ガーデングローブ市、日本：小牧市・所沢市

ロシア：ウランウデ市、ブラジル：ソロカーバ市、メキシコ：ナウカルパン市、中国：安陽市（網掛けは記念式典参加都市）

視察報告

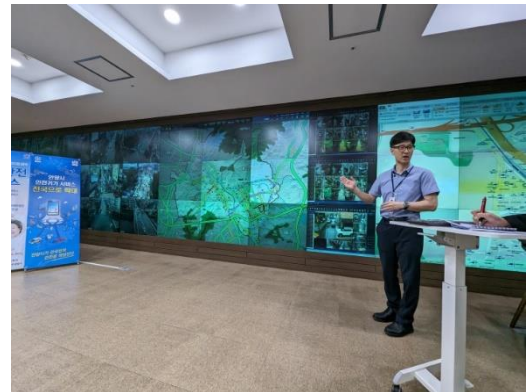
9月20日(水)

1. スマート都市総合センター

スマート都市総合センターを見学、全市的に7000ヶ所のAIを活用した防犯カメラにより、安全、安心、福祉に活用している先進的な取り組みの説明をうけた。AI機能により即座に、警察、消防、救急と連携し、センターとしては、80人態勢で対応にあたっている。

- ・女性など弱者のスマートフォンからも非常通報が簡単に発信できる
- ・高齢者の異常事態に対応
- ・都市火災や山林火災の発見
- ・交通違反や交通事故の検証
- ・不審者の発見
- ・自動運転バス（レベル4、時速50キロで運転）

など、様々な用途で活用している。



2. FC 安養キックオフイベント

安養総合運動場にて、安養市をホームとするプロサッカーチーム「F C 安養(Kリーグ2部リーグ)」の公式戦前に、訪問した友好都市の代表と安養市長によるキックオフイベントが開催された。

訪問した各代表者がユニフォームを着用してのキックオフとなり、小雨の中、大いに盛り上がりを見せた。

※F C 安養：2012年、安養市議会においてプロサッカーチームの創設が決定し、Kリーグに初めて昇降制度が導入されたシーズンの2013年にKリーグ2部リーグに参加。韓国安養市をホームとする韓国プロサッカーチーム。



3. 歓迎晩餐会

安養市主催のレセプションとして開催された。ステージでは、各市の代表者による挨拶や安養市合唱団のオペラや合唱などが催され、各市代表の挨拶だけでなく、各市訪問団の親善協会や芸術団も全員紹介された。



9月21日（木）

1. 市議会表敬訪問

- ・場 所 安養市議会棟 公室
- ・訪問者 チェ・ビョンイル議長、議員 5 名
- ・概 要

チェ・ビョンイル議長より、「今回を機に活発な交流を深めていきたい。今後もさらに発展させ、友好を強化していきたい。」とあいさつ。安養市議会は20名で構成され、ほぼ日本と同様な議会機能となっている。議場は、議員と理事者側が左右に並び議長が正面に座る形となっている。



2. 市長表敬訪問

- ・場 所 安養市役所市長公室
- ・訪問者 チェ・デホ市長
- ・日韓親善協会顧問 川島公子氏 名誉市民証の授与
※川島公子氏：元小牧市議会議長、日韓親善協会前会長
知的障がい者施設「緑郷園」元理事（安養市内）
- ・概 要

チェ・デホ市長から「小牧市との交流は 30 年以上の年月が流れ、韓日・日韓の両協会の功績もとても大きく、感謝している。小牧市とは大切な友としてこれからも交流を続けていきたい。」とあいさつがあり、今後も積極的に交流を続けていきたいと感じることができた。

訪問した市長公室の横には、低舞台が設置されている記者会見場のような部屋も隣接されており、市関係メディア数も 375 社 405 人（公式 HP より）と公表されており、メディアに対する姿勢もうかがうこともできた。

また、川島公子氏の安養市に対する長年の功績を称え、名誉市民証の授与が合わせて行われた。



3. シンポジウム

- ・ 場所 安養市アートセンター
- ・ 発表（各市約 15 分）：テーマ
ハンプトン市：ハンプトンイノベーション（革新）
ガーデングローブ市：ガーデングローブへようこそ
小牧市：SDG s 未来都市こまき
所沢市：所沢市について
安陽市：安陽文化観光振興
安養市：安養ストーリー 成長の 50 年上昇の 100 年
- ・ 友好の協定調印式
- ・ 概要

シンポジウムは、各市が最先端の防犯システムや観光、文化的特色などそれぞれ 15 分の持ち時間で発表した。日本語、ハングル語、英語、中国語のブースが設けられ、イヤホンを着用し同時通訳で行われた。各市の発表の後は、6 人の代表が 6 枚協定書 にサインし調印を行った。



4. 安養市市昇格 50 周年記念式典

- ・ 場所 安養市中央公園 屋外ステージ
- ・ 姉妹都市・友好都市のあいさつ
- ・ 地元議員、国会、県会議員の紹介
- ・ 安養市市政功労者表彰
- ・ 安養市芸術団発表・各市芸術団発表
- ・ 700 機のドローンによる航空ショー
- ・ 概要

毎年行われている安養市ダンスフェスティバルを 50 周年記念事業として行われた。大型 LED モニターが 3 台設置され、上空からダンサー下りてくる演出ではじまり、オープニングのダンスの後、各市の挨拶、地元関係者などの挨拶があり、その後各市の芸術団の発表となった。小牧市は、日本文化の象徴の一つとして日本舞踊で祝いの舞を披露し、盛大な拍手沸き起こり、多くの観覧者に感動を与えることができた。



9 月 22 日（金）

1. 礼節教育館

礼節教育館で、韓国の身分制度や伝統文化、玄関で靴を脱ぐときの向きが日本と反対であることや女性が立膝で座ることが正式な座り方など生活様式について説明があり、朝鮮王朝貴族（両班）の試着体験を行った。

2. APAP センター見学

APAP センターの APAP とは、安養公共芸術プロジェクト (Anyang Public Art Project) の略称で、芸術品の展示・芸術品を体験できるセンターとして、閉館した農業試験場を再活用している施設の見学を行った。

訪問時は、日本人も含め多くの世界の現代芸術家の作品を展示していた。



3. 安養市の企業訪問

- ・ 場所 (株)レティナル (LetinAR)
- ・ 概要 (安養市の先端技術産業系企業)

(株)レティナルは、安養市に立地する企業で、今回の視察では、現在、本格的な実用化に向けての特殊なゴーグルのレンズ（スマートグラス）の製造過程の説明を受けた。

このレンズは、現在、さまざまな分野で実用化が進んでいる目の前の現実を仮想的に拡張する画期的な技術である AR(拡張現実)や、バーチャルな世界でリアルに近い体験ができる VR(仮想現実)といった技術を、専用のゴーグルを装着することで、CGを現実世界に映し出すものである。

このスマートグラス、見た目は折りたたみ式のサングラスですが、立体視ディスプレイが搭載されており、現実世界に溶け込んだ 100 インチのスクリーンに匹敵するサイズとの説明があり、内蔵カメラが手や目の動きをトラックし、スマホに接続することで、AR アプリを楽しむこともできるとの説明があった。

スマートグラスは、現在は、基本的にはエンターテインメント、特にゲームの世界で用いられることの多い技術であるが、近年ではビジネス用途にも使われ始めており、(株)レティナルでは、実用化に向けて先駆的に事業展開をしているとの説明があった。

4. 民歌謡祭祝賀公演

- ・ 場所 三徳公園 屋外ステージ
- ・ 概要

市民歌謡祭は、中央公園に比べて規模が小さな会場であるが、中央市場の前にある公園であり、人通りの多い場所にある公園。出演は、安養市の芸術団を中心に各市の芸術団が 15 分の持ち時間で発表を行った。



5. 韓日親善協会主催送別会

- ・ 場所 マーベリエ
- ・ 概要

安養市と小牧市の親善協会については、小牧地区日韓親善協会が昭和54年（1979年）に発足以来民間レベルで交流が続いており、令和5年（2023年）で44年を迎えた。

今回の安養市昇格50周年表敬訪問における送別会は、韓日親善協会主催により、小牧市とともに友好都市である所沢市との合同で、ビュッフェ形式のレストランの個室にて開催された。

ケーキカットなどの催しや、多くの会員の皆さんが、ご自身の思いをスピーチしてからの乾杯が何度も繰り返され、小牧市と安養市、そして所沢市のそれぞれの歴史を感じられた送別会であった。



● まとめ

安養市から、市昇格50周年記念事業の一環として、姉妹・友好都市の5市（米国：ハンプトン市・ガーデングローブ市、日本：小牧市・所沢市、中華人民共和国：安陽市）が招かれた。

安養市では、市だけでなく韓日親善協会からも心からのもてなしを受け、小牧市と安養市の友好を、より深める機会となった。また、韓日親善協会主催による夕食会では、小牧市と所沢市と合同での開催となり、所沢市とも親交を深める機会となり、大変有意義な友好都市交流であった。